

# 佐藤忠男さん を偲んで

## 追悼上映とトーク

批評家 佐藤忠男

『復讐するは我にあり』

『追悼トーク①』

天願大介

細野辰興

教育者 佐藤忠男

『青s chong s』

『ひいくんのあるく町』

『パンザイ人生まっ赤っ赤』

『追悼トーク②』

安岡卓治

中野量太

国際交流人 佐藤忠男

『台湾新電影時代』

『追悼トーク③』

石坂健治

アン・ニ晏妮

ハン・トンヒョン 韓東賢

レモンスカッシュ	500円	ウイスキー (角)	500円
トマトジュース	500円	トースト(バター付)	300円
バナナジュース	500円	チーズトースト	400円



©ABLAZE IMAGE Ltd. 光在影像股份有限公司

2022 **5.7** [土] **8** [日] **10** [火]

[会場] 川崎市アートセンター アルテリオ映像館

[料金] 1000円 / 学生500円 (各種割引き・ポイント制なし・入れ替えなし)

[主催] 日本映画大学 [共催] 川崎市アートセンター / 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2022実行委員会 / 川崎市 / 川崎市教育委員会  
[後援] 「音楽のまちかわさき」推進協議会 / NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり / 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム

最新情報はWebで!! /

アルテリッカ

検索

www.artericca-shinyuri.com



日本映画大学



川崎市アートセンター  
kawasaki ART center



去る3月17日に91歳で亡くなった佐藤忠男さんは、日本を代表する映画評論家として文化功労者をはじめ数々の受賞・受賞に輝くとともに、日本映画学校校長・日本映画大学学長として多くの人材を育てました。またアルテリッカ実行委員長を長くつとめ、地域における芸術文化活動の推進に尽力されました。

佐藤さんを偲んで、その広範な活動を振り返りながら、ゆかりの深い映画の上映と故人を知る方々による追悼トークをおこないます。

PROFILE

1930年、新潟県生まれ。日本を代表する映画評論家であり、アジア映画研究の先駆者。文化功労者、芸術選奨文部大臣賞、紫綬褒章、勲四等旭日小綬章、韓国王冠文化勲章、フランス芸術文化勲章シュバリエ章受章、毎日出版文化賞、国際交流基金賞、神奈川文化賞、The CILECT Teaching Award 2016 など多数受賞・受章。2017年、日本映画大学名誉学長就任。2022年、没。

5.7 [土]

批評家 佐藤忠男

15:00 【上映+トーク】



©1979 松竹株式会社 / 株式会社今村プロダクション

復讐するは我にあり

監督：今村昌平 / 原作：佐木隆三 / 脚本：今村昌平・馬場当  
出演：緒形拳、三国連太郎、倍賞美津子  
1979年 / 松竹 / 140分 / DCP / R15+

市民を次々と殺害し、詐欺を繰り返しながら逃走を続ける凶悪犯・  
えのまつひわ 榎津巖をめぐる衝撃の物語。本作の製作と並行して今村監督は  
横浜放送映画専門学院（現・日本映画大学）を1975年に設立。翌  
76年から佐藤忠男が日本映画史を担当することとなった。

追悼トーク①

天願大介（日本映画大学学長 / 映画監督・脚本家・舞台演出家）  
細野辰興（日本映画大学教授 / 映画監督）

横浜時代から今村＝佐藤コンビを知る二人が  
当時から現在までを振り返ります。



5.8 [日]

教育者 佐藤忠男

15:00 【上映3本立て（約180分・休憩1回）+トーク】



青～chong～

脚本・監督：李相日  
撮影：早坂伸  
出演：眞島秀和  
1999年 / 54分 / 日本映画学校  
11期卒業制作 / BD

朝鮮高校に通う在日三世たちの青春を野球を通して描いた李相日監督（『フラガール』『怒り』『悪人』）の原点。「この卒業制作一本で、李相日は日本映画の第一線に並んだ。」（佐藤忠男）



ひいくんのあるく町

監督：青柳拓  
2017年 / 47分 / 日本映画大学  
3期卒業制作 / DCP

故郷への郷愁と愛しさを奏でる“ほっこり”ドキュメンタリー。「これは滅多にない楽しいドキュメンタリーです。ふるさとによせる讃歌です。ドキュメンタリーはこういうこともできるのです。」（佐藤）



バンザイ 人生まつ赤っ赤

脚本・監督：中野量太  
2000年 / 83分 / 日本映画学校  
12期卒業制作 / BD

笑いと涙に包まれた中野量太ワールドが芽生えた卒業制作。TAMA NEW WAVE グランプリなど受賞。「いま評判の『湯を沸かすほどの熱い愛』の原点がここにあります。」（佐藤）

追悼トーク②

安岡卓治（日本映画大学教授 / 映画プロデューサー） 中野量太（映画監督）

多くの卒業生を輩出し、晩年まで毎年の卒業制作を熱心に観続けた佐藤学長の姿を偲びます。

5.10 [火]

国際交流人 佐藤忠男

16:00 【上映+トーク】



©ABLAZE IMAGE Ltd. 光在影像股份有限公司

ニューシネマ 台湾新電影時代

監督：シエ・チンリン（謝慶鈴）  
2014年 / 台湾 / 109分 / DCP / 配給：オリオフィルムズ

1980年代、台湾映画界に新しい潮流をもたらし、世界の映画史にその名を刻んだ「台湾ニューシネマ」。ホウ・シャオシェン（侯孝賢）、ツァイ・ミンリャン（蔡明亮）、黒沢清、是枝裕和らの証言を通してその本質を探るドキュメンタリー。佐藤忠男もインタビュー出演して台湾映画を熱く語っている。

追悼トーク③

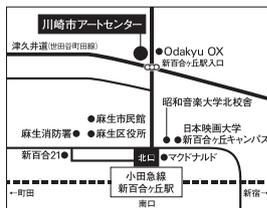
石坂健治（日本映画大学映画学部長 / 国際映画祭ディレクター）  
アン・ニ 晏妮（日本映画大学特任教授 / 映画史研究）  
ハン・トンヒョン 韓東賢（日本映画大学准教授 / 社会学）

アジア映画交流の先駆者であり、日本映画の伝道師でもあった国際交流人佐藤忠男に焦点を当てる。

【会場】 川崎市アートセンター

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分  
〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1  
TEL:044-955-0107 ※駐車場はございません

【料金】 1000円 / 学生500円  
(各種割引・ポイント制なし・入れ替えなし)



アルテリッカしんゆりのコロナ感染防止対策

- 定期的に会場の換気、消毒を行います。
- スタッフ、出演者の健康管理を徹底しています。
- 舞台配置・演出などで感染防止のための対策をします。

お客様へのお願い

- 消毒、検温にご協力ください。
- 体調に不安のある方は来場をご遠慮ください。
- 会場内ではマスクを着用し、大声での会話をお避け下さい。

その他各関係ガイドラインに則り対応しますのでご協力をお願いいたします。

詳細はHPから!

www.artericca-shinyuri.com